

【様式】

I. 研究概要

研究テーマ

志を持ち、「なりたい自分」の実現に向けて求めて学ぶ生徒の育成
～キャリアパスポートを軸とした「立志教育」の推進を目指して～

1 テーマ設定の理由

令和4年度より埼玉県教育委員会から「授業時数の弾力化に係るモデル校事業」の研究委嘱を受け、基礎研究（教育計画の見直し、講演会の実施、特例時間割の編成準備、キャリア教育先進校《福島県棚倉町立棚倉中学校》視察等）を行い、今年度は「授業時数特例校（詳細は別紙資料）」として本格的な実践に取り組んでいる。

本校の課題として、教育相談的な配慮を要する生徒数の増加が挙げられる。具体的には長期欠席生徒数の増加である。長期欠席生徒を出さないための事前策として、各学級、学年の対応はもちろん、SCの毎週配置など様々な手立てを講じているが、生徒自身の問題や家庭の状況によるところが大きく不登校生徒の教室復帰に至らないことが多い。長期欠席に至る前に生徒自身が目標を持って学校生活を送れるよう継続的に指導していく必要があると考えている。他の生徒についても、家族、周囲の雰囲気によって背中を押される「外圧により学ぶ」生徒が多く、点数や結果を意識する傾向が見られる。学習に対する内発的意欲や主体的な取組の必要性を感じる。

そこで、特別活動の時間を要としたキャリア教育を充実させることで生徒自身が自分と向き合い、大きな志を持って学校生活を送れるよう指導を行う。キャリア教育の時間を要としながら日々の授業の中でも教科横断的な指導を通して、生徒の自己実現を目指したい。

2 研究仮説

- ①授業時数の弾力化を活かし、特別活動の時間を要としながら、個別面談を充実させ、キャリアパスポート、各種講演会の実施等へ計画的に取り組むことで生徒の「志を持ち、挑戦する力」を伸長することができるであろう。
- ②生徒一人ひとりに志を持たせ、将来への見通しを立てさせながら活動させることで、生徒は現在の学校生活へ主体的に取り組め、基礎的・汎用的能力を総合的に伸ばすことができるであろう。

3 目指す生徒の姿

黒浜中学校としてのキャリア教育で目指す生徒の姿を、「志を持ち、『なりたい自分』の実現に向けて求めて学ぶ生徒」とした。「志を持つ」ということを「自分の夢を、具体的な行動と計画とともに語れること」と定義し、【将来の自分を見据え、現在の学校生活を主体的に送ることができる生徒】の育成を目指す。

4 研究主題に迫る具体的な手立て

(1) 「志を持って生活する」ための立志教育の推進

- 「志を持つこと」を「自分の夢を、具体的な行動と計画とともに語れること」と定義し、志を持たせるための立志教育の計画的な推進
- 様々な業種のゲストティーチャーと連携した講演会の実施による各生徒の将来像を構築させるための機会づくり

(2) 蓮田市キャリアパスポートの活用

- 小・中・高のつながりを意識した活用
- 教員による生徒理解・生徒の自己理解を意識した活用

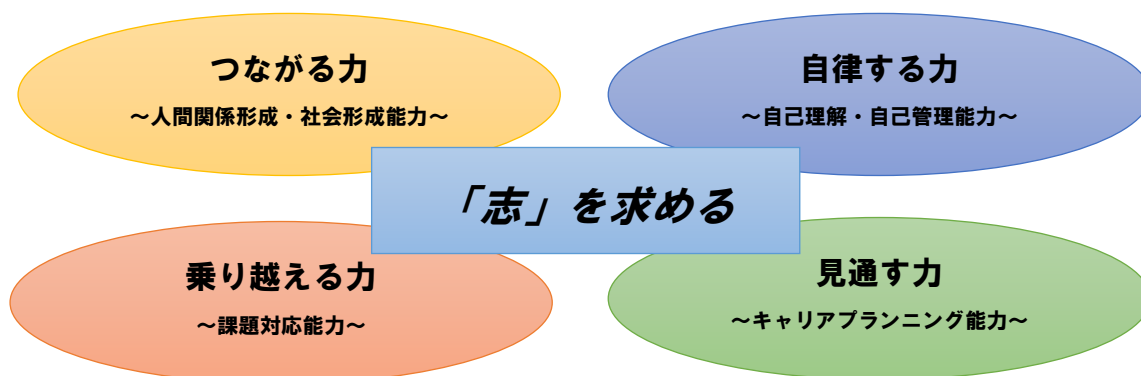


(3) 特例校の利点を活かした二者面談の取り組み

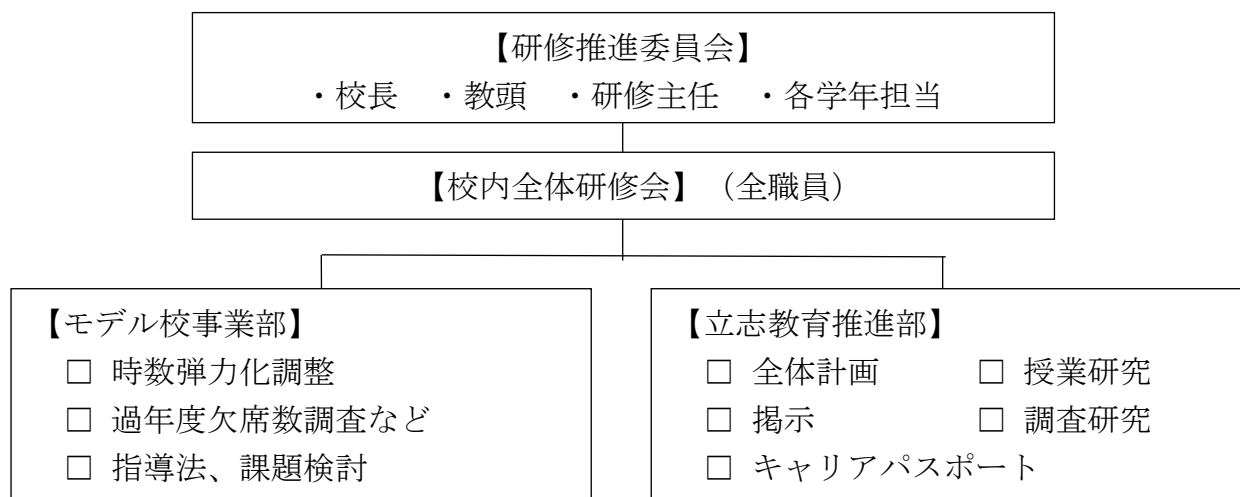
- 上乘せした時数で実施する、キャリアパスポートを基にした二者面談
- 生徒自身の振り返りの機会と、発達支持的生徒指導の機会確保

(4) 立志教育で育成する「4つの力」の焦点化と共有

キャリア教育で育成すべき基礎的・汎用的能力のうち、特に4つの力に焦点化し、掲示している。キャリア教育の時間を要としながら、各教科・領域においても共有を図った。



5 研究組織について



Ⅱ. 研究の実践 1 (モデル校事業部)

(1) 授業時数の弾力化について ※HP掲載、地域周知用資料の抜粋

本校は令和5年度、文部科学省より、これまでの標準授業時数は確保した上で、教科ごとの授業時数の配分について一定の弾力化による「特別の教育課程」の編成を認める「授業時数特例校」に指定されます。

授業時数特例校について

特例の内容

学年ごとに定められた各教科等の授業時数について 1割を上限として各教科の標準授業時数を下回って教育課程を編成することを特例的に認め、下回ったことによって生じた授業時数を別の教科等の授業時数に上乘せし、教科横断的な視点に立った資質・能力の育成や探究的な学習活動の充実に資する教育課程の一層の充実を図る。

指定の要件

- ・学習指導要領の内容事項が適切に扱われていること。
- ・各学年の年間の標準授業時数の総授業時数が確保されていること。
- ・児童生徒の発達段階、各教科等の特性に応じた内容の系統性・体系性に配慮がなされていること。
- ・保護者の経済的負担など義務教育の機会均等の観点から適切な配慮がなされていること。
- ・児童生徒の転出入など、教育上必要な配慮がなされていること。

令和5年度より1学年にて「学級活動」の時数を上乘せし、キャリア教育の充実を図ります。

減じる授業時数

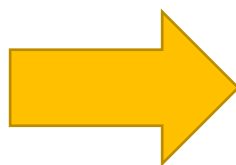
- ・保健体育 10時間「105→95」
- ・外国語(英語) 8時間「140→132」

(2) 時間割上の運用

「通常時間割」を「保健体育科と外国語(英語)の時間を学級活動に変更するM時間割」に適宜、変更し運用を行った。

※前期(4~10月)の例 後期(11月~)ではクラスをスライドして運用している。

通常時間割	
1-1	保健体育
1-2	保健体育
1-3	英語



M(モデル校)時間割	
1-1	学級活動
1-2	
1-3	

(3) 減じた教科における学習内容・学習活動の特別活動への移行部分

教科（減じた時数）	特別活動に移行する内容・活動
保健体育 (10時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・【体育分野】「陸上競技」の内容の一部 ・【体育分野】「体育理論（スポーツの意義等）」についての内容の一部と言語活動 ・【保健分野】「心身の機能と心の健康」についての内容の一部と言語活動
英語 (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの活用方法 ・視覚的資料の作成の仕方 ・話すこと〔やりとり〕におけるテーマ資料の作成と活用 ・話すこと〔発表〕における日本語資料（自分の憧れの人）の作成

(4) 上乗せした時間で行う実践（18時間）

A:つながる力 B:自律する力
C:乗り越える力 D:見通す力

No.	月	日	曜日	内容	特に伸ばす力			
					A	B	C	D
1	5	11	木	小学校からのCPを基にした二者面談	○	○		
2	6	1	木	キャリア学習①「憧れの人の生き方を知る」		○		
3	6	6	火	キャリア学習②「憧れの人の生き方を知る」		○		
4	10	5	木	キャリア学習③「夢と志」			○	◎
5	10	24	火	キャリア学習④「自分を成長させる『振り返り方』」		○		
6	10	25	水	学級活動「合唱コンクールを振り返って」			○	○
7	10	26	木	GT講演会①【プロランナー 川内優輝氏】 「マラソンを通して見えるもの」		○		○
8	10	30	月	CPを基にした二者面談（～11/10）		○		
9	11	24	金	GT講演会②【公立中学校教員】 「見えないだけ ※」 ※ハンディキャップを乗り越えて働くことを通して子どもたちに伝えたいこと	○		○	
10 11	12	12	火	GT講演会③【元ウォルトディズニー・シニアプロデューサー 大畠崇央氏】 「ディズニー流夢を叶える3つの魔法」		○		○
12	12	14	木	学級活動「2学期を振り返って」		○	◎	
13	1	11	木	キャリア学習⑤「CPを基にした自己分析」		○		
14	1	16	火	学級活動「先輩の経験から学ぶ」	○	○		
15	1	18	木	学級活動「スキー教室を通して成長するために」		○		

16	1	30	火	学級活動「スキー教室を振り返って」	○		◎	
17	2	15	木	CPを基にした二者面談		○		○
18	3	7	木	学級活動「1年間を振り返って・次年度にむけて」			○	

※CP：キャリアパスポート GT：ゲストティーチャー

(5) 各種アンケート、調査等の分析について

＜①黒浜中学校 教育活動に関するアンケート＞

- ・R4年度より全学年で前期（7月）、後期（12月）の年2回実施
- 現2学年との数値の比較が可能

**A:つながる力 B:自律する力
C:乗り越える力 D:見通す力**

	質問項目	測る力			
		A	B	C	D
1	夢や希望、目標を持って学校生活を送っていますか。				○
2	授業に真剣に取り組んでいますか。		○		
3	家庭学習（予習・復習・学校からの課題）によく取り組んでいますか。		○		
4	学習に対して昨年度よりも意欲的に取り組んでいますか。		○		
5	友達や先生、来校者などへのあいさつがよくできていますか。	○			
6	時間を守ることを意識して生活していますか。		○		
7	より良い環境づくりのため、清掃やボランティア活動に取り組んでいますか。	○			
8	仲間との協力や思いやりを意識して生活していますか。	○			
9	学校行事に意欲的に参加していますか。			○	

＜②立志教育アンケート＞

- ・今年度より1学年を対象に5月、12月、3月の年3回実施

	質問項目	測る力			
		A	B	C	D
1	将来の目標を持っていますか。				○
2	自分の将来の夢について考えることがありますか。				○
3	将来の目標に向けて努力していると思いますか。			○	
4	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。			○	
5	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	○			
6	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。				○

Ⅲ. 研究の実践2 (立志教育推進部)

(1) 授業実践について

①各学級で小学校からのキャリアパスポートを基にした「二者面談」の実施

【つながる力・自律する力】

- ・教師と生徒同士がお互いを知り、関係を作るために実施。

<教職員の感想>

- ・4月の早い時期に二者面談を行うことで生徒の不安に寄り添うことができた。また、小学校から積み重ねたキャリアパスポートを参考にすることで、生徒の成長の過程を意識しながら話をすることができた。
- ・4月という忙しい中での実施だったが、キャリアパスポートを用いれば下準備無しで話題があり、とても良かった。新学年を持つときには今後もやっていきたいと思う。

②キャリア学習①②「憧れの人の生き方を知る」

【見通す力】

- ・自身の「志を持つ生き方」を見つけるための前段階として実施。

③キャリア学習③「夢と志について」

【乗り越える力・見通す力】

- ・本校では、「夢を持つこと」を「〇〇になりたい!」と思うこと、「志を持つこと」を「自分の夢を、具体的な行動と計画とともに語れること」と定義し、生徒自身に「志を持つこと」の大切さと「夢に向かうため」のアドバイスを生徒達自身の言葉で共有する学級活動を行った。
- ・「〇〇になりたい」、ではなく「△△な〇〇になりたい」と考えさせることで現在の自分に足りない力を意識させ、学校生活で頑張ることを焦点化させることを意識した。

④キャリア学習④「自分を成長させる『学校行事』の振り返り方」

【自律する力】

- ・今後の二者面談、学校行事、講演会の振り返り方を確認した。
- ・キャリア学習③で決めた「志」に対してキャリアパスポートを用いて振り返りながら、学校行事をどう充実させていくのかを担当のアドバイスとともに指導を行った。

⑤キャリアパスポートを基にした「二者面談」の実施

【乗り越える力・自律する力】

- ・11月の授業「夢と志について」の授業で決めた学校生活で頑張ることの確認
- ・「面談事後シート」を記入し、約束事を文章で振り返らせた。
- ・目標に向かうための個別の具体的なアドバイスと支援に力を入れた

<生徒の感想>

- ・「夢と志の授業」で決めたことで頑張っていないことがあったので、担任の先生から励ましてもらい、また頑張ろうと思うことができた。

⑥学級活動「合唱コンクールを振り返ろう」 【乗り越える力・見通す力】

- ・キャリアパスポートを基に、合唱コンクールの取り組みを個人→グループ→学級全体と段階を追って振り返りを行った。
- ・学級全体の振り返りを踏まえ、最後は個人に戻し、自分の目標に向かうためには今回のどのような取組を生かすことができ、また今後どのような努力が必要になるのかを考えさせた。

<生徒の感想>

- ・将来もたくさんの人との関わりがあるので、いまを共に過ごすみんなと団結したり、協力することの大切さを振り返りの話し合い活動を通して改めて気づいた。
- ・誰かの意見を聞くことは新たな発見や学びにつながり、自分のことにも生かしていきたいと思った。

⑦学級活動「2学期を振り返ろう」 【自律する力・乗り越える力】

- ・キャリアパスポートを基に、2学期の取組を個人→グループ→学級全体と段階を追って振り返りを行った。
- ・学級全体の振り返りを踏まえ、最後は個人に戻し、自分の目標に向かうためには2学期のどのような取組を生かすことができ、また3学期やスキー教室に向けてどのような努力が必要になるのかを考えさせた。

<生徒の感想>

- ・クラスをよりよくしていくために日頃から声かけなどに取り組んでいる人たちの思いに全員で応えていきたいと話し合うことができた。これからは、自分ができることを考えてクラスのために貢献できるよう行動していきたい。
- ・一人一人が意識し、何か工夫して変えていこうとするもののくり返しが大切だと思った。

②他者理解&自己理解

⇒他者理解を通して自己理解を深め、将来への見通しを持つ

<他己紹介について>

班員の良いところを紹介し合う活動

☆クラスメイトの良いところを1つあげて、みんなに紹介しよう!!

(4) 班	
紹介する人の名前	その人の良いところ
さん	とてもやさしい。私の困っている時助けてくれた。また笑顔が素敵です。
さん	みんなの前で声がかたりするなど、リーダーシップのあるところ。また、正義感のあるところ。
さん	話をよく聞いてくれるところ。またいつも優しく接してくれるところ。
さん	何事にも積極的なところ。ほげんをする時にはほげんを話しているところが良いと思います。
さん	面白くアノケも明るいところ。また運動神々の良いところ。
さん	



今日の活動を通しての振り返りや紹介された感想を書こう!!

私の良いところを見つけてくれた。うれしかった。でも、また友達の良いところもたくさん見つけることができました。これからみんなの生活も、みんなの良いところもたくさん見つけたいです。

自分の良いところを紹介してもらい、自己理解につなげた。

<キャリア学習①②「憧れの人の生き方を知る」について>

ヒーロー&ヒロインの生き方調べ

●スポーツ選手や文化人など、あなたの「あこがれの人」を選び、その人はどんな生き方をし、どのような個性や資性からその職業についたのか調べてみよう。

■あなたのヒーロー・ヒロインの名前	■その人の職業
宮本 茂	ゲームクリエイター
■なぜその人について調べたいのか	■中学生時代の夢や目標のようすは?
マリオやゼルダなどの世界的なキャラクターを生み出した茂さんに、何よりも憧れたいから	バスケットボール部、ソフトボール部を止めた。→マリオの制作をして、ゲームクリエイター。→マリオの制作に夢中になって、ゲームクリエイターになった。
	■活動を始めたいのはいつ?
	大学卒業後、任天堂に入社。1999年からこの仕事に携わった。1999年、このゲームの制作に携わった。この作品でマリオを生み出した。
	■夢をかなえるためにしたことや、困難なことに出会ったときの様子
	■働くうえで大事なこと・これからの目標は?
	古いゲームを新しいゲームに作り替える。残るものを創る。
	■自分も誇りたいことは? (調べて自分が思ったこと)
	■そのほか、みんなに伝えたいことは? (自分の感想)
	マリオを生み出したこと。ゲームクリエイターは、強い意志と、才能が必要だ。
	マリオを生み出した人。ゲームクリエイターを志す人。みんなに伝えたいことは、ゲームクリエイターは、強い意志と、才能が必要だ。

目標とする人の生き方について調べ、多様な生き方や選択肢があることを実感させ、「なりたい自分」を探る手がかりとした。

<二者面談について>

面談事後シート

① 面談で分かった自分の長所
ていねいでまじめな所。責任感があり、任せられた仕事を切り回すことのできる公平・公正な判断が出来る
② 面談で決めた約束事 … <input checked="" type="radio"/> あり / <input type="radio"/> ない ←どちらかに○を
ある人は具体的に書きましょう 30分は絶対家庭学習をする
③ これから頑張っていくことを具体的に書こう!
中間テストで良かったが、期末テストでとり返す。分からないことをなくし、時間がある時には勉強をする

① 面談で分かった自分の長所
ていねいに一つ一つの物事に真面目に誠実に取り組める所。ふり返りをきちんと行っている。
② 面談で決めた約束事 … <input type="radio"/> あり / <input checked="" type="radio"/> ない ←どちらかに○を
ある人は具体的に書きましょう 習い事があるが、お休みの15分間毎日続ける。(英)
③ これから頑張っていくことを具体的に書こう!
日頃からの勉強時間を確保して分からない所をできる限りはやく理解できるようにしていく。

面談前の学校生活アンケートだけでなく、面談後に担任の先生と話し合ったことや決めたことを記録として記述させた。

(3) ゲストティーチャーの講演会の取組

① ゲストティーチャー講演会①【プロランナー 川内優輝氏】

「マラソンを通して見えるもの」

【乗り越える力・見通す力】

<生徒の感想>

- ・「夢」や「目標」を達成するためには成功までの道筋を計画としてしっかり立てて行動することが大切だと分かった。また、人と違うやり方だとしても自分に合っていると信じてやり通し、結果を出せば誰も批判しなくなるということも知ることができた。

② ゲストティーチャー講演会②【公立中学校教員】

「見えないだけ ※」

※ハンディキャップを乗り越えて働くことを通して子どもたちに伝えたいこと

【乗り越える力・見通す力】

<生徒の感想>

- ・いまが大変なときでも、自分の「夢」や「目標」を見失わずに「いま」を少しでも前向きに頑張っていくことの大切さを知った。
- ・「いま」を頑張った先に自分にとっての居心地のよい場所や楽しいこと、もっと頑張っていきたいことが見つかっていくのだと思った。

③ゲストティーチャー講演会③

【元ウォルトディズニー・シニアプロデューサー 大島崇央氏】

「ディズニー流夢を叶える3つの魔法」

【乗り越える力・見通す力】

<生徒の感想>

- ・夢への歩みの中では良いことばかりではないので、1回つまずいたから止めるのではなく、日々少しずつ夢へと努力を積み重ね、失敗してもいいから何事も挑戦していきたいと思った。
- ・「目標があるからやる」でも良いけど、「目標を見つけるためにやる」でも良いんだなと思ったので、まずは目の前のことに一生懸命に楽しみながら頑張りたいと思った。

(4) 環境整備について

①教室掲示物

個人クリアホルダーに学期の目標とそれを達成するための具体的な行動目標を記述したものを掲示している。個人ホルダーの中身は年度末に全てキャリアパスポートファイルに綴じ込みを行い、次年度へ引き継げるように全学年で統一している。

個人クリアホルダー



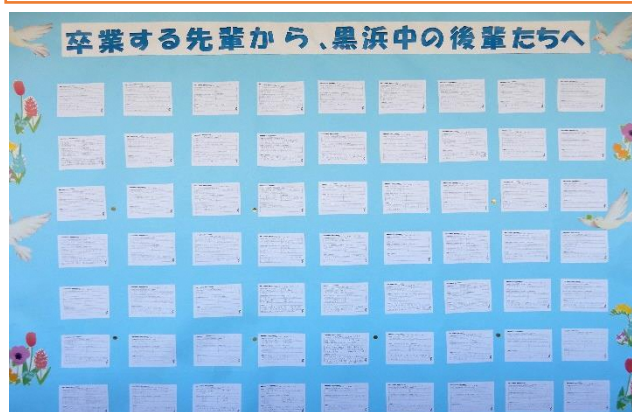
②学年フロア掲示物

- ・現中1生が小学校6年次3月の出前授業「中学校生活への準備」で記述した内容を学年フロアに掲示している。また、その隣には現高校1年生が卒業期に記入した「中学校1年生でつけておくべき力」についてのメッセージを掲示している。生徒一人ひとりが中学校入学前に抱いていた目標を意識しながら生活を送って欲しいという願いと、先輩からのメッセージから日々の生活を大切に送って欲しいという思いを込めて掲示している。

小6次 (R5.3月) の「目標」



卒業生からのメッセージ (中1でつけて欲しい力)



- ・学校行事に関連した掲示物

『「目標（志）」を持たせるのは学校（学年）行事でも同じである。』という思いのもと、学年に関連した掲示物を充実させている。

学年行事に応じた生徒手作りのスローガン



行事の振り返り写真



IV. 成果と課題

1 アンケート結果から

(1) 「教育活動に関するアンケート」と「立志アンケート」の結果

① 「つながる力」について

種類	質問項目	第1回	第2回	±
教活	友達や先生、来校者などへのあいさつがよくできていますか。	97.37	96.63	-0.74
教活	より良い環境づくりのため、清掃やボランティア活動に取り組んでいますか。	76.32	83.15	+6.83
教活	仲間との協力や思いやりを意識して生活していますか。	98.68	97.75	-0.93
立志	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	94.32	97.53	+3.21

「思う」「どちらかといえば思う」
肯定的回答の合計。単位は%。

② 「自律する力」について

種類	質問項目	第1回	第2回	±
教活	授業に真剣に取り組んでいますか。	97.37	98.88	+1.51
教活	家庭学習（予習・復習・学校からの課題）によく取り組んでいますか。	94.74	74.16	-20.58
教活	学習に対して昨年度よりも意欲的に取り組んでいますか。	94.74	92.13	-0.74
教活	時間を守ることを意識して生活していますか。	96.05	98.88	+2.82

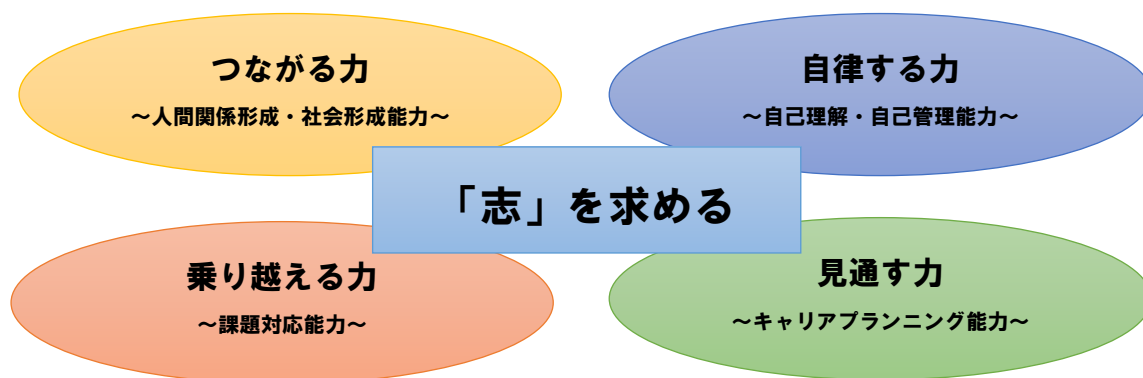
③ 「乗り越える力」について

種類	質問項目	第1回	第2回	±
教活	学校行事に意欲的に参加していますか。	96.05	97.75	+1.70
立志	将来の目標に向けて努力していると思いますか。	73.86	93.83	+19.96
立志	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。	76.14	83.95	+7.81

④「見通す力」について

種類	質問項目	第1回	第2回	±
教活	夢や希望、目標を持って学校生活を送っていますか。	89.47	93.26	+3.78
立志	将来の目標を持っていますか。	85.23	95.06	+9.83
立志	自分の将来の夢について考えることがありますか。	85.23	93.83	+7.37
立志	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	75.00	81.48	+6.48

※焦点化した4つの力



(2)「前年度アンケート」、「埼玉県学力・学習状況調査」との比較

①「つながる力」について

質問項目	R4 前期	R4 後期	R5 前期	R5 後期
より良い環境づくりのため、清掃やボランティア活動に取り組んでいますか。	62.50	63.81	76.32	83.15
	+1.31		+6.83	

R4年度の1学年(現2学年)と数値を比較した。昨年度の数値変化は「+1.31%」の微増であったが、今年度は「+6.83%」と大きく増加した。

②「自律する力」について

質問項目	R4 前期	R4 後期	R5 前期	R5 後期
時間を守ることを意識して生活していますか。	96.43	90.48	96.05	98.88
	-5.95		+2.83	

R4年度の1学年(現2学年)と数値を比較した。昨年度は前期から後期にかけて下降したが、今年度は微増(+2.83%)という結果となった。

③「乗り越える力」について

質問項目	市平均	県平均	本校	±
難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。	69.8	68.2	83.95	+15.75

R5年度の2学年の埼玉県学力学習状況調査と数値を比較した。蓮田市、埼玉県の平均値よりも大きく上回る結果(+15.75%)となった。

④「見通す力」について

質問項目	市平均	県平均	本校	±
将来の目標を持っていますか。	70.2	70.4	95.06	+24.66

R5年度の2学年の埼玉県学力学習状況調査と数値を比較した。蓮田市、埼玉県の平均値よりも大きく上回る結果(+24.66%)となった。

(3) 考察

アンケート結果より、基礎的・汎用的能力の全般的な向上が見られた。特に、課題対応能力から焦点化した「③乗り越える力」とキャリアプランニング能力から焦点化した「④見通す力」の数値が大きく向上した。また(2)に示した通り、「①つながる力」においては昨年度と比較し、数値の伸び幅が大きく上昇した。

「②自律する力」においても昨年度では前期から後期にかけて下降した数値が微増に転じていた。将来への志をもつことで、生徒自身が「今、すべきこと」をよく考え、自らの行動を律しようとする意識の表れであると考え。

特別活動の時間を要とした立志教育を通して、生徒一人ひとりが主体的に活動に取り組んだ結果、基礎的・汎用的能力を総合的に伸ばすことができた。

2 生徒のキャリアパスポートの記述から

・キャリアパスポートに基づいた個別面談(4月実施)後の記述から

●**中学校でどんな担任の先生か分からなかったが、二者面談を通して先生のことを知ることができ、今後何かあったら相談できそうだなと感じた。**

●**小学校から書いていたキャリアパスポートには、こういう意味があったのかと思った。中学校の先生に、今までの自分を知ってもらえて良かった。**

・キャリア学習③「夢と志」授業(10月実施)後の記述から

●**今日の授業で夢は大きさも大事だけど、見通しや計画をしてそこにおかかって取り組むことが大切だと思いました。今からできることをもっと探してみたいと思います。**

●**今までは単に「保育士」になりたいと思っていましたが、「優しい」や「子どもと一緒に走り回れる」といった具体的な保育士を夢にすると、日々の努力が大切だと思いました。今日書いた、部活動で体力づくりをすることや、善悪を判断して行動するなどの具体的な取組をしていきたいと思います。**

●**自分の「夢」を深めて考えることができました。将来「必要な力」を得るために「今」できることを、これからやっていきたいと思いました。「志高く」日々の学校生活を送りたいです。何事にも目標を持って活動に取り組みたいと思いました。**

3 長期欠席生徒率の推移

文部科学省の定義にあるように、年間欠席累計 30 日以上の生徒を長期欠席生徒とカウントした。本校の課題である、2 学期における長期欠席生徒の増加に対して立志教育の効果を検証した。

	1 学期末から 2 学期末の長期欠席者率の推移
R 1 年度	+2.0%
R 2 年度	+3.0%
R 3 年度	+1.6%
R 4 年度	+2.5%
R 5 年度	+1.0%

過去 4 年間と比較しても長期欠席生徒率の値が半分程度となった。3 学期末まで経過を注視する必要があるが、アンケート結果も含め現時点では生徒ひとりが志を持ち、主体的に学校生活に取り組めた結果であると考えている。

4 今後の課題

●家庭での学習への取組

1 - (1) のアンケート結果（前期から後期で-20.58%）からも分かる通り、家庭学習の習慣化に課題がある。教科担当の教師の見とりからも家庭学習への取組に対して課題を感じている。志を持って学校内での活動に取り組んでいるが、家庭での学習にその意欲が結びついていないことが現状の課題である。

●継続した立志教育のためのカリキュラムの見直し

今年度、授業時数特例校を活かしたカリキュラム編成により黒浜中学校ならではの立志教育を推進することができた。来年度以降は立志教育の内容を精選しつつ、特別活動の計画を進めていく。

※ 参考文献・資料等

- 中学校・高等学校キャリア教育の手引き 令和 5 年 3 月（文部科学省）
- 学級・学校文化を創る特別活動 中学校編
（文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター）
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 特別活動
（文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター）
- 新学習指導要領に対応した学習評価（中学校 特別活動） 長田徹先生 資料
- みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編
（文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター）
- カリキュラム・マネジメントに挑む 教科を横断するキャリア教育、教科と往還する特別活動を柱に P D C A を！ （長田徹監修・図書文化）
- 令和 4、5 年度蓮田市教職員全体研修会 筑波大学教授 藤田晃之先生 資料

- 福島県棚倉町立棚倉中学校キャリア教育研究発表会（R4. 11. 25）資料
- 羽生市立東中学校特別活動研究発表会（R5. 11. 2）資料
- 久喜市立久喜小学校授業時数弾力化に係るモデル校事業研究発表会資料（R5. 10. 31）
- 小川町立小川小・東中学校授業時数弾力化に係るモデル校事業研究発表会資料
(R5. 11. 28)
- 熊谷市立三尻中学校授業時数弾力化に係るモデル校事業研究発表会資料（R5. 11. 30）